

# 第13期 中間報告書

2013年4月1日～2013年9月30日

verification service



株式会社 ベリサーブ

謹啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、この度は、2014年3月期第2四半期累計期間の業績につきまして、株主の皆様にご報告させていただきます。

日本経済は、景気対策等により回復の兆しが見えて、心理的にも改善の傾向が見えてまいりました。一方で、新興国の景気減速懸念などが世界経済に大きく影を落としております。米国金融市場における量的緩和政策は、「金余り」を生み、マネーの新たな投資先として新興国に向かいました。しかしながら、5月に米国で量的緩和の出口戦略について論議されはじめると、投資家を新興国からの投資回

収へと駆け立て、経済環境は未だ危うい状況であることが再認識されました。

日本国内においては、お客様の心理的景況感は改善傾向にあるものの、現実の予算編成は厳しい環境にあります。さらに中国経済の減速は、日本の製造業が現地に設立した企業における新製品開発にも影響を与えており、比較的好調と考えられた地域でも一転し、厳しい環境となりました。

このような環境のなか、当社では、従来のお客様への営業展開はもちろん、より高度な製品検証や、新たな分野での顧客獲得に注力してまいりました。

当社は、この10月に東京で開かれましたITS世界会議にも出展いたしました。ITS世界会議は、これからのクルマにおいてどのような技術が展開されるのかを提案し、先行開発について発表する場となっています。当社では今後の自動車で活かされるソフトウェアの品質確保の手法や技術について展示発表し、この分野での先行した取り組みにより、検証事業を拡大してまいりたいと考えております。

当社は2013年9月30日を基準日として、2013年10月1日より1株を100株にする株式分割を行うとともに、100株を単元株式とする単元株制度を採用いたしました。これは、全国取引所が主導する「売買単位の集約に向けた行動計画」の趣旨を踏まえたものであります。これにより株主の皆様が売買する単位が変更となっておりますが、実質的な投資単位は変わらないことをあわせてお伝え申し上げます。

今般の中間配当につきましては、基準日が2013年9月30日となりますので、分割前の基準となり、当初予定通りの1株当たり1,000円の配当となります。

また、当中間報告書とともに株主優待の品を同封しております。株主の皆様には、引き続き、当社事業活動へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

謹白



代表取締役社長  
新堀 義之

## 当第2四半期連結累計期間の概況

# Review of Operations

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権による経済政策や金融政策を背景に、円安や株高が進行し、景気は緩やかな回復基調となりました。一方、来年4月からの消費税率引き上げへの不安感や新興国経済の減速懸念などの景気下振れリスクにより、先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループの主要顧客である製造業においては、輸出産業を中心に企業収益が改善に向かうなど明るい兆しが見えつつありますが、長引く不況の影響から引き続き予算縮小や内製化を行う傾向が見受けられました。また、製造業では収益力とコスト競争力の観点から、海外生産拠点での国際分業を進めるとともに、経営資源を効率的に配分していくために事業の選択と集中がより図られていくものと考えられます。

### ▶ 売上高

**2,435** 百万円

前年同期比11.2%減

### ▶ 営業利益

**67** 百万円

前年同期比36.9%減

### ▶ 経常利益

**50** 百万円

前年同期比52.2%減

### ▶ 四半期純利益

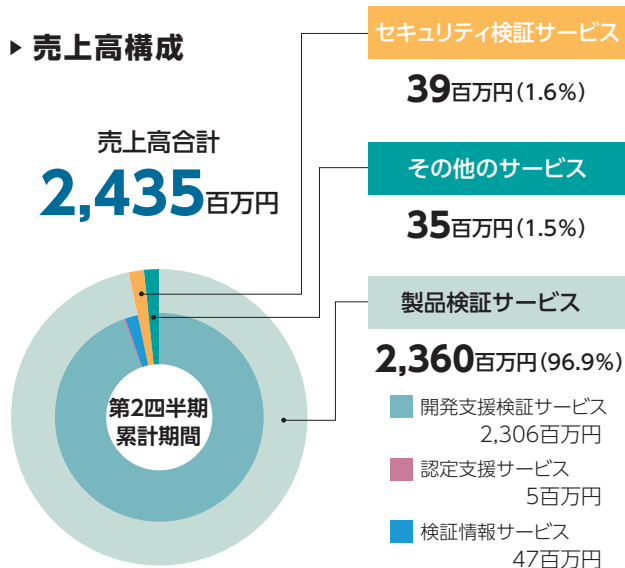
**△3** 百万円

前年同期比 —

こうした中、当社グループにおきましては、顧客のニーズに対応し、既存取引の維持・拡大に努めることで、業績拡大に注力するとともに、新規分野・新規顧客の開拓に努めてまいりました。

検証対象製品を分野別に見てみますと、ITS(高度道路交通システム)関連につきましては、主力分野であるカーナビゲーション・システムが本格的な回復には至りませんでした。それ以外の車載関連において新規案件の獲得もあり、前第2四半期連結累計期間に比べて売上高が増加しました。また、本年10月にITS世界会議が東京で行われるなど、その多様化・高度化する情報技術に高い関心が注がれていることから、今後も当社グループではビジネスの維持・拡大に向けて引き続き注力してまいります。制御機器や産業機器といったその他の組込製品については、新規案件の寄与もあり、前第2四半期連結累計期間と比べて売上高が増加した反面、AV関連機器、モバイ

## ▶ 売上高構成



※( )内構成比率

## 当第2四半期連結累計期間の概況

## Review of Operations

ル通信やエンタープライズ系などの組込み以外のソフトウェア分野においては停滞いたしました。一方、中国では景気減速により、検証案件が減少しており、厳しい状況となっております。

当社グループでは、幅広い分野で検証業務を提供するため、検証技術者のコントロールを適宜行い、適材適所に配置してまいりました。また、全般的なコストの見直しも進めており、販売費及び一般管理費は、前第2四半期連結累計期間に比べ

7.6%減少いたしました。

以上のような結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,435,640千円(前年同四半期比11.2%減、307,899千円減)、営業利益は67,184千円(前年同四半期比36.9%減、39,326千円減)、経常利益は50,708千円(前年同四半期比52.2%減、55,413千円減)、四半期純損失は3,999千円(前年同四半期は四半期純利益43,958千円)となりました。



## ■ 株主優待について

当社では、下記のように株主優待を実施しております。

なお株式分割実施に伴い、次回以降の優待基準が変更されますのでご注意ください。

### 対象となる株主

毎年9月30日、3月31日現在の株主名簿及び実質株主名簿に記載されている1株以上(注)を保有されている株主様。なお、次回の優待より基準株数が100株以上となりますので、ご注意ください。

### 株主優待の内容

当社は、検証サービスという業務上の性質から、株主の皆様にご優待できる商品等を取り扱っておりませんので、1株以上(注)の当社株式を保有されている株主様に対して、一律QUOカード(クオカード)500円分を贈呈させていただきます。

(注) 今回の優待基準で、次回以降は100株以上となります。



JCV子どもの笑顔プロジェクト 寄付つきQUOカード(1枚につき50円の寄付)

## ■ 第13期の中間配当について

安定的かつ継続的な配当を行いつつ、経営基盤の確保ならびに今後の事業展開などの内部留保を勘案し、当中間期の配当は下記のように実施いたします。

1株当たり

**1,000**円

配当総額

**26,084**千円

## ■ 四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

	当第2四半期 (2013年9月30日現在)	前期 (2013年3月31日現在)		当第2四半期 (2013年9月30日現在)	前期 (2013年3月31日現在)
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
流動資産	4,803,695	4,985,266	流動負債	478,954	690,588
固定資産	525,852	595,554	固定負債	165,719	172,170
有形固定資産	57,068	63,148	負債合計	644,673	862,758
無形固定資産	197,616	204,419	<b>純資産の部</b>		
投資その他の資産	271,167	327,985	株主資本	4,680,959	4,718,667
			資本金	792,102	792,102
			資本剰余金	775,852	775,852
			利益剰余金	3,113,004	3,150,712
			その他の包括利益累計額	3,914	△ 605
			純資産合計	4,684,874	4,718,062
<b>資産合計</b>	<b>5,329,548</b>	<b>5,580,821</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>5,329,548</b>	<b>5,580,821</b>



## ■ 四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:千円)

	当第2四半期 (2013年4月1日~2013年9月30日)	前第2四半期 (2012年4月1日~2012年9月30日)
売上高	2,435,640	2,743,539
売上原価	1,735,283	1,952,017
売上総利益	700,356	791,522
販売費及び一般管理費	633,171	685,011
営業利益	67,184	106,510
営業外収益	7,411	9,454
営業外費用	23,887	9,843
経常利益	50,708	106,121
税金等調整前四半期純利益	52,735	106,121
法人税、住民税及び事業税	32,446	96,306
法人税等調整額	24,287	△ 34,142
少数株主損益調整前四半期純利益又は 少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△ 3,999	43,958
少数株主利益	—	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△ 3,999	43,958
その他の包括利益	9,937	8,264
四半期包括利益	5,938	52,222

## ■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:千円)

	当第2四半期 (2013年4月1日~2013年9月30日)	前第2四半期 (2012年4月1日~2012年9月30日)
営業活動による キャッシュ・フロー	21,746	355,038
投資活動による キャッシュ・フロー	1,696	△ 72,559
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 39,374	△ 39,180
現金及び現金同等物に 係る換算差額	6,660	△ 2,552
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△ 9,271	240,745
現金及び現金同等物の 期首残高	3,879,621	3,704,724
現金及び現金同等物の 四半期末残高	3,870,349	3,945,470

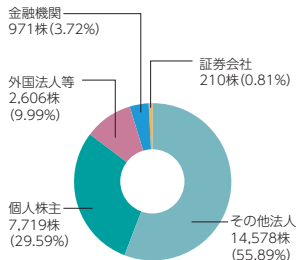
(注)各計算書類の記載金額は千円未満を切捨てて表示しております。

発行可能株式総数 **64,000株**

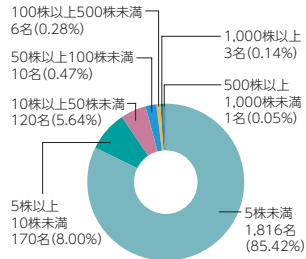
発行済株式総数 **26,084株**

株主数 **2,126名**

## ■ 所有者別株式分布状況



## ■ 所有株数別株式分布状況



## ■ 大株主(上位11名)

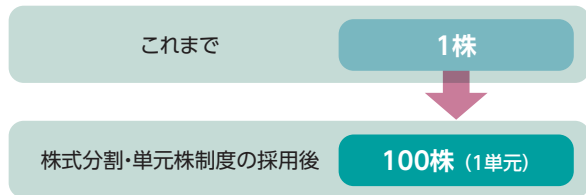
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
SCSK株式会社	14,500	55.59
ステート ストリート バンク アンド トラストカンパニー505224	2,500	9.58
ベリサーブ従業員持株会	1,319	5.06
浅井 清孝	534	2.05
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	244	0.94
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	139	0.53
加藤 一夫	130	0.50
野村證券株式会社	118	0.45
高橋 豊	104	0.40
小澤 裕紀	100	0.38
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口6)	100	0.38

## 株式分割の実施、単元株制度の採用について

2012年4月に全国証券取引所の有価証券上場規程等が改正され、単元株式数が100株又は1,000株以外の上場会社は、単元株式数を100株とすることが義務付けられました。これを踏まえ、当社は**2013年10月1日より1株を100株に分割**するとともに、**100株を1単元とする**

### ① 制度のイメージ

基準日：2013年9月30日 効力発生日：2013年10月1日

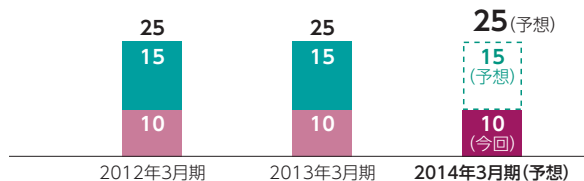


単元株制度の採用を行いました。

あわせて、株主優待の基準株式数を、1株以上を100株以上に変更しております。

なお、株式分割の実施及び単元株制度の採用に伴う投資単位の実質的な変更はありません。

### ② 1株当たり配当金額 (円/株)



※2013年10月1日付の株式分割に伴う影響を加味して、遡及修正した数値を掲載しております。また、当期(2014年3月期)の実際の中間配当金(基準日:2013年9月末)は、株式分割実施前にかかるものであるため、1株につき1,000円となります。

## ■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人の事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
(インターネットホームページURL)	<a href="http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html">http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html</a>
【株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会】 証券会社の口座をご利用の株主様は三井住友信託銀行株式会社ではお手続きできませんので、取引証券会社へご照会下さい。証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先までご連絡下さい。	
公告方法	電子公告の方法により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 電子公告アドレス: <a href="http://www.veriserve.co.jp/ir/epr/">http://www.veriserve.co.jp/ir/epr/</a>
上場金融商品取引所	東京証券取引所 市場第一部
証券・銘柄コード	3724

## ■ 会社概要 (2013年9月末現在)

商号	株式会社 <b>ベリサーブ</b> VeriServe Corporation
本社所在地	〒160-0023 東京都新宿区西新宿六丁目24番1号 西新宿三井ビル14F
代表電話	03-5909-5700
設立	2001年7月24日
資本金	792百万円
従業員数	501名(連結)、473名(単体)
事業内容	製品検証サービス: IT関連製品(ハードウェア、ソフトウェア)のシステム検証 セキュリティ検証サービス: ネットワークシステムのセキュリティ分野での検証 その他のサービス
ホームページ	<a href="http://www.veriserve.co.jp/">http://www.veriserve.co.jp/</a>